

平成17年

5月

No. 499



広報

いいたて

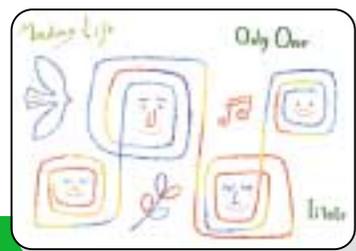
<http://www.vill.iitate.fukushima.jp>



▲上級生から拍手を受けながら入場する新入学児童（飯樋小）

今日から小学生の仲間入り - 平成17年度入学式 -

4月6日、村内3つの小学校で入学式が行われ、新入学児童が小学校生活の一步を踏み出しました。今年度の新入学児童は、草野小35人、飯樋小25人、白石小6人の計66人です。（8ページに関連記事）



大いなる田舎 まていうイフ・いいたて

災害や事故から人命を守る



▲昨年9月に実施された村総合防災訓練のようす

昨年は全国的に災害の多い年でした。過去最多となる台風上陸や大雨、地震、大雪などにより各地で大きな被害を受けました。最近では、飛行機や電車などによる事故も発生しています。

さらに、国の地震調査委員会では、今後30年以内に宮城県沖を震源とする大地震が99%の確率で起きる可能性があるとして予測しています。

災害や事故は、いつどこで起きるか分かりません。村と消防では、このような災害や事故が発生した際に人命を守るため、ハードとソフト両面からの整備を進めています。

今回は、人命救助に関する取組みについてご紹介します。

防災意識を新たに

4/24

村消防団春季検閲式

「飯館村消防団春季検閲式」が菅野小校庭で行なわれました。今回の検閲式には、消防団や婦人消防隊、役場消防隊などがあわせて230人が参加。検閲式では、松林茂団長と菅野村長から「日頃から訓練を怠ることなく、常に万全の体勢を整えていただきたい」とあいさつされたのに続き、検閲が行なわれ、通常点検・機械器具の点検・分列行進について菅野村長らが検閲しました。

参加した団員らは、分団長らの指揮のもと、てきぱきと行動し、防災意識を新たにしていました。



▲菅野村長らによる検閲



▲分列行進のようす

救急・消防車両の配備



▲昨年配備された高規格救急車

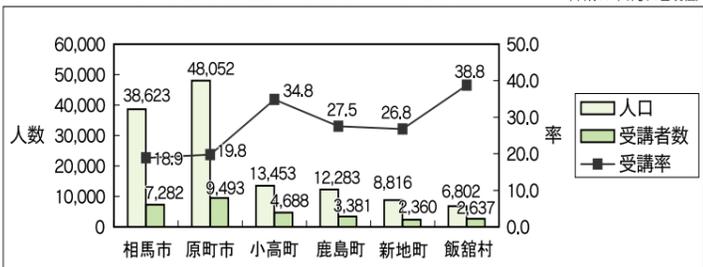
昨年10月、消防飯館分署に高規格救急車が配備され、あわせて2人の救急救命士も配属されました。これにより、今までは病院に搬送されてからの処置が救急車内で行えるようになり、患者の負担軽減が図られます。

今年3月には、新たに4地区へ小型動力ポンプ付き積載車が配備されたことで、全行政区への消防車両の配備が完了しました。

県内トップの受講率

村民の普通救命講習の受講率は、相馬広域管内で最も高い38.8%で、県全体で見てもトップの数字となっています。これは、救命に対する村民の意識が高いことと、助け合いの精神が強い表れといえます。

相馬地方普通救命受講者数及び受講率 (平成17年3月31日現在)



村で初めて応急手当普及員に3人が認定



▲認定を受けた3人 (写真左から高橋美佐子さん、石川幸枝さん、菅野さよ子さん)

このたび、村婦人消防隊員の高橋美佐子さん(伊丹沢)、石川幸枝さん(比叢)、菅野さよ子さん(飯樋町)の3人が、応急手当普及員に認定されました。

応急手当普及員は、所定の講習(今回は計24時間講習)を修了した方が認定され、自らが所属する事業所などで開催される普通救命講習会での指導を行います。

村で応急手当普及員が認定されたのは、今回が初めてで、今後の活躍が期待されます。

AED(自動体外式除細動器)トレーナー

3月に、財団法人日本防火協会から村婦人消防隊にAED(自動体外式除細動器)トレーナーが寄贈されました。



▲寄贈されたAEDトレーナー

AEDは、除細動(一般的に言う電気ショック)を行う器具で、急に心肺停止になった人に対して最も有効な処置です。昨年からは一般の方にも使用が認められています。

今回寄贈されたトレーナーは訓練用のため、実際に通電はしませんが、本物と全く同じ操作方法

で訓練ができます。

4月14日に開催された村婦人消防隊役員総会に先立ち、30人の隊員がトレーナーを使用しての訓練を行いました。

なお、婦人消防隊以外の方でも、AEDトレーナーを使った訓練や講習を受けることができます。詳しくは、消防飯館分署救急係(☎0119)へ。



▲訓練のようす

今年度の「村総合防災訓練」は、9月に飯樋地区で実施されます。訓練や各講習会に参加したり、家族や地域で話し合うなどして、自分の暮らしや地域を守る自覚を持ちましょう。